



第64号

●平成21年(2009年)
「初めての
児童デイサービス 開所」



●平成23年(2011年)
ギャラリーら・ら・ら開設

第72号

●平成24年(2012年)
「北部ケアホーム『つばさ』『あすなろ』が開所しました!!」

つばさ、あすなろは、障害の重い方、自閉性障害をお持ちの方が入居されています。
お一人おひとりの障がい特性に配慮し、個人の生活スタイルに合わせ、安心して生活が送れる
ように、より細やかで丁寧な支援を目指していききたいと思います。(記事要約)



「ひまわり100号発刊に寄せて」

今から35年前の5月、機関誌「ひまわり」第1号が誕生しました。「ひまわり」のタイトルは向陽園の名前のように、太陽に向かって明るく、元気に頑張ろうと言う願いを込めて付けられました。またタイトルの文字は、利用者の菊池礼子さんに書いて頂きました。
近年デジタル化が進み、インターネットを開けばいつでも愛泉会のホームページを閲覧出来る時代です。当時はまだワープロもない時代、愛泉会の取組みや方向性、利用者の声や表情などを盛り込んだ機関誌は、社会への情報発信として大きな役割を担っていたことと思います。
割り付けからレイアウト、掲載する写真のネガ探しに至るまで、すべての行程が手作業。ゲラ刷りを経て、

手元に届くまでのドキドキ感が懐かしく思い出されます。
私たちは、開所当時から普通の暮らしを追い続けてきました。日々の生活の中で利用者ご自身の意志で選択して頂くような取組みや一般企業での職場実習、施設内から地域の中に活動の場を設けた職住分離、地域生活の体験の場としての宿泊体験、グループホームでの生活など、様々な取組みを機関誌の中でご報告させて頂きました。便利な時代となり活字離れが進んでいますが、機関誌「ひまわり」の中から感じられる暖かいぬくもりと一緒にたくさんの方々のお手元にお届けできたらと思います。



グループホーム支援センター 向陽園 所長 小林 裕子

100号とともに愛泉会の歴史を振り返ってまいりました。
今日の愛泉会は、これまで様々な取り組みを行いながら、多くの方にご利用いただき、
また事業所を運営することができております。

愛泉会基本理念

人権の尊重 受容と共感

自立支援

利用する方々

- グループホーム支援 108名
- 施設入所支援 37名
- 生活介護 205名
- 就労継続支援A型 5名
- 就労継続支援B型 12名
- ホームヘルプ 184名
- 相談支援 559名
- 地域活動支援 67名
- 放課後等デイサービス 65名
- 短期入所支援 36名

※この数値は令和4年度
前期報告書の各項目の延べ人数

職員 273名

向陽園エリア

- 障害者支援施設 向陽園
- 向陽園 ショートステイサービス
- グループホーム支援センター 向陽園
- エコファームもとさわ
- デイサポートさくら
- デイサポート たんぼぼ工房
- まいんどパーク

北部エリア

- グループホーム支援センターみらい
- あすなろショートステイサービス
- デイサポートちとせんぼ
- デイサポートにしいろ
- 向陽園地域生活支援センター 心音
- 居宅介護支援事業所 心音

南部エリア

- グループホーム支援センター 心音
- ショートステイサービス 心音
- 向陽園ホームヘルプステーション 心音
- 児童デイサービス 月のひかり
- ショートステイサービス 月のひかり

天童エリア

- グループホーム支援センター 天花
- ぶどうの木ショートステイサービス
- デイサポート 天花
- 地域生活支援センター 天花
- 地域活動支援センター 天花

法人本部

ギャラリーら・ら・ら

中山エリア

- グループホーム支援センター なかやま
- ショートステイサービス ゆるっとなかやま
- 多機能型事業所 なかやま町の丘



真藤二良先生 水戸画「向陽園会館」

武田真作「花」と美さんとお母さん

フリアホッケー全国大会出場

伊南園「クリスマス会」